

2014年12月11日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町2-4  
会社名 そーせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証マザーズ)  
代表者 代表執行役社長CEO 田村真一  
問い合わせ先 執行役副社長CFO 虎見英俊  
電話番号 03-5210-3290(代表)

### JITSUBO 株式会社の株式取得および第三者割当増資引受 による連結子会社化に関するお知らせ

そーせいグループ株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長CEO：田村真一、以下、そーせい）は、平成26年12月11日開催の取締役会において、JITSUBO 株式会社（本社：東京都小金井市、代表取締役CEO：河野悠介、以下、JITSUBO 社）の株式取得および同社が実施する第三者割当増資の引受により、当社の連結子会社とすることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 株式の取得の理由

当社グループにおける現在の主たる収益源は、ノバルティス社に導出しているCOPD治療薬である「シーブリ」および「ウルティプロ」\*のマイルストーンおよびロイヤリティ収入ですが、更なる成長を遂げるために、両剤に続く新たなシーズの探索に鋭意取り組んでおります。

その結果、ペプチド領域において革新的な技術を持つJITSUBO社を見出し、同社が保有する技術は、当社子会社のアクティバスファーマが保有するナノ粉砕化技術と並び、当社グループの中長期戦略の実現に重要な役割を果たす基盤技術になり得ると判断し、子会社化を決定いたしました。

JITSUBO社は、東京農工大学連合大学院の千葉一裕教授の研究成果の事業化を目指す東京農工大発ベンチャー企業として2005年4月に設立されました。同社は新規ペプチド合成技術であるMolecular Hiving™（モレキュラー・ハイビング技術）<sup>1</sup>や、独自のペプチド分子修飾技術であるPeptune™（ペプチューン技術）<sup>2</sup>を有しており、ペプチド医薬品の効率的な合成、新規機能ペプチドの研究を進めており、後発医薬品の製品開発や新薬候補の創出を目指して事業展開しています。

※ Molecular Hiving™やPeptune™の詳細について[こちら](#)をご覧ください。

### 本買収による当社への貢献：

#### 1) 基盤技術の取得によるペプチド医薬領域への参入

ペプチドは、タンパク質に比べて分子量がはるかに小さく有機合成が可能であること、一方で従来の低分子医薬品と比べると分子量が大きく多様性に富み、低分子医薬品では制御困難な治療標的へのアクセスが可能になるという期待から、次世代の医薬品として注目を集めています。ペプチド医薬品は既に上市品目が 50 種を超え 2020 年には 230 億米ドルの市場が形成されると見込まれております。JITSUBO 社の子会社化によって、革新的なペプチド関連技術を獲得し、当社グループは将来の成長の源泉となり得るペプチド医薬品領域へ参入する足がかりを得ます。

#### 2) パイプラインの拡充

本取得によって下記の 2 品目の後発医薬品およびこれらに続く開発候補品群を得ること、当社グループのパイプラインの拡充を図ります。

| 開発コード    | 適応     | 開発段階       |
|----------|--------|------------|
| JIT-2001 | 循環器系疾患 | 開発研究・非臨床試験 |
| JIT-1007 | 希少性疾患  | 基礎研究       |

### 2. 異動の方法

当社は、JITSUBO 社との投資契約により平成 26 年 12 月 26 日(予定)付で JITSUBO 社が実施する第三者割当増資において D 種株式 68,871 株を引受けます。これにより JITSUBO 社の発行済株式総数は 263,890 株となります。また、同日付で既存株主より普通株式 69,490 株を取得します。従って、当社は JITSUBO 社の発行済株式総数 263,890 株のうち 52.4%を保有する事となり、JITSUBO 社は、当社の連結子会社となります。

尚、普通株式および D 種株式以外の種類株式は 1 株につき 1 個の議決権ですが、投資契約により D 種株式は 1 株につき 3 個の議決権が付与されるため、総議決権数 401,632 個のうち 276,103 個を保有することになり、議決権所有割合は 68.7%となります。

### 3. 異動する子会社 (JITSUBO 株式会社) の概要

|               |   |
|---------------|---|
| (1) 名 称       | JITSUBO 株式会社                                |
| (2) 所 在 地     | 東京都小金井市中町 2-24-16                           |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 CEO 河野悠介                              |
| (4) 事 業 内 容   | ペプチド医薬品の開発、ペプチド原薬製造技術に関するライセンス、ペプチド創薬に関する研究 |
| (5) 資 本 金     | 10 百万円 (資本準備金 10 百万円)                       |
| (6) 設 立 年 月 日 | 平成 17 年 4 月 8 日                             |

|                            |  |              |              |
|----------------------------|--|--------------|--------------|
| (7) 大株主および持株比率             | MSIVC キャンパス 3号投資事業有限責任組合 18.3%<br>JMSeed Bio Incubation 壱号投資事業有限責任組合 10.9%<br>その他個人株主 9名 70.8% |              |              |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係        | 資本関係   | 該当事項はありません   |              |
|                            | 人的関係   | 該当事項はありません   |              |
|                            | 取引関係   | 該当事項はありません   |              |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態 |  |              |              |
| 決算期                        | 平成 24 年 3 月期   | 平成 25 年 3 月期 | 平成 26 年 3 月期 |
| 純 資 産                      | △46 百万円  | △94 百万円      | △58 百万円      |
| 総 資 産                      | 22 百万円   | 19 百万円       | 40 百万円       |
| 1 株 当 たり 純 資 産             | △532.87 円  | △1,091.35 円  | △429.23 円    |
| 売 上 高                      | 23 百万円   | 20 百万円       | 24 百万円       |
| 営 業 利 益 ( △ 損 失 )          | △60 百万円  | △62 百万円      | △40 百万円      |
| 経 常 利 益 ( △ 損 失 )          | △34 百万円  | △48 百万円      | △38 百万円      |
| 当 期 純 利 益 ( △ 損 失 )        | △34 百万円  | △48 百万円      | △38 百万円      |
| 1 株 当 たり 当 期 純 利 益         | △396.99 円  | △558.48 円    | △388.08 円    |
| 1 株 当 たり 配 当 金             | —  | —            | —            |

#### 4. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は個人株主 8 名となります。この 8 名の希望により、氏名・住所を非公表とさせていただきます。なお、当社との間で記載すべき資本関係、人的関係、取引関係、その他特筆すべき関係はありません。

#### 5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

|               |  |                  |
|---------------|--|------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0 株<br>(議決権の数 : 0 個)<br>(議決権所有割合 : 0%) |                  |
| (2) 取得株式数     | 既存株主からの株式取得                            | 69,490 株         |
|               | 第三者割当増資の引受株数                           | 68,871 株 (D 種株式) |
|               | (議決権の数 : 206,613 個)                    |                  |
| (3) 取得価額      | 既存株主からの株式取得費用                          | 211 百万円          |
|               | 第三者割当増資の引受費用                           | 210 百万円          |
|               | アドバイザー費用等(概算額)                         | 10 百万円           |
|               | 合計                                     | 431 百万円          |

|               |   |
|---------------|---|
| (4) 異動後の所有株式数 | 138,361 株<br>(議決権の数 : 276,103 個)<br>(議決権所有割合 : 68.7%) |
|---------------|---|

注：議決権の数および議決権数所有割合に関しては2. 異動の方法をご参照ください。

## 6. 日 程

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成26年12月11日     |
| (2) 契約締結日   | 平成26年12月11日     |
| (3) 株式取得実行日 | 平成26年12月26日(予定) |

## 7. 今後の見通し

今回の株式取得(子会社化)が今期の業績に与える影響は精査中ではありますが、今後業績に影響を与えると判断した場合は速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成26年6月25日公表分) および前期連結実績

(単位：百万円)

|                        | 売上収益  | 営業利益  | 税引前利益 | 当期利益  | 親会社の所有者に<br>帰属する当期利益 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------------|
| 当期連結業績予想<br>(平成27年3月期) | 3,300 | 2,000 | 2,000 | —     | 2,000                |
| 前期連結実績<br>(平成26年3月期)   | 2,069 | 756   | 737   | 1,526 | 1,526                |

以 上

\* Seebri® Breezhaler® (欧州) /シーブリ®吸入用カプセル50μg (日本) およびUltibro® Breezhaler® (欧州) /ウルティブロ®吸入用カプセル(日本) は、ノバルティス社の登録商標です。

【備考】

<sup>1</sup> **Molecular Hiving™** : Molecular Hiving™ 技術は、JITSUBO 社が特許を保有するペプチドの新しい液相合成法です。従来のペプチド合成技術には、固相ペプチド合成法（SPPS）と液相ペプチド合成法（LPPS）がありますが、一般的に SPPS は合成コストが高く、少量生産向き、一方、LPPS は大量生産に汎用されているものの長鎖のペプチド合成を苦手としています。Molecular Hiving™ 技術は、SPPS と LPPS の双方の利点を有し、ペプチド合成を高効率かつ低コストで実現可能とする、革新的な技術です。また SPPS では困難であったペプチド合成工程をモニタリングすることができ、従来法に比べ高品質なペプチドをより簡便に製造することが可能となります。

詳細については、[www.jitsubo.com/jp/](http://www.jitsubo.com/jp/)をご覧ください

<sup>2</sup> **Peptune™** : Peptune™ はペプチドのアミノ酸配列を変更することなく、立体構造を任意に改変することを可能にする技術です。類似の既存技術に比べて構造多様性が高く、薬理機能や安定性をペプチドの立体構造に基づいて向上させることが可能となります。また、架橋上に別の機能分子を導入することも可能であり、従来とは異なる科学的アプローチにより、新たな機能性ペプチドの創造が可能となります。

詳細については、[www.jitsubo.com/jp/](http://www.jitsubo.com/jp/)をご覧ください。